

第9回「鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会」

結 果 概 要

1 開催日時・場所

令和8年5月25日（月）10：00～11：30

ホテルウェルビューかごしま 2階 潮騒（鹿児島市）

2 会次第

1 開会

2 説明 ※括弧書きは説明者

（1） 本港区エリアまちづくり事業の取組

- ・ トライアル・サウンディングの実施結果について
（北ふ頭エリア しおかぜ通り）（県）

- ・ 北ふ頭エリア等利活用事業者公募について（県）

（2） 本港区エリアまちづくりに係る動向

- ・ スポーツ・コンベンションセンターについて（県）

（3） 中心市街地との回遊性向上に向けた取組

- ・ マイアミ通りまちづくり協議会の取組状況（同協議会）
- ・ イベント情報の共有（県）

3 意見交換

4 閉会

3 意見交換（要旨）

（マイアミ通りまちづくり協議会 会長）

- ・ 現地案内や対話をどのくらいの事業者としているか。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ 現地案内は、4月上旬に申込みを締め切り、4者から申し込みがあった。第1回対話は、4月中旬に申込みを締め切り、1者から申し込みがあった。第1回質問は4月中旬に申込みを締め切り、1者から提出があった。

（鹿児島港運協会 事務局長）

- ・ 先日北ふ頭にクルーズ船が寄港した際、エプロンや作業場に一般の方が入ってきて、港湾の運送作業が中断せざるを得ない状況が生じた。
- ・ 北ふ頭の利活用については、安全面の確保が前提だと認識している。県は、具体的な対策について、どのように考えているのか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ エリアコンセプトプランを策定する際、港湾物流の機能を守ることは前提としており、今回の公募にあたっては、エリアコンセプトプランに記載がある、北ふ頭における荷役作業等の安全対策を盛り込んでいる。
- ・ 今回の要項においても、野積場に施設を作る場合は、例えば、荷役の範囲には入らないように、立入防止のための対策を提案いただくよう記載しており、そのような前提条件を踏まえた上で提案があると考えている。
- ・ 評価・配点の中においては、事業コンセプトに加え、港湾の既存公共機能を損なわないように提案されているかという点も、しっかりと評価することとしている。

(県土木部 港湾空港課 課長)

- ・ クルーズ船寄港時には、一般の方が荷役作業場所には立ち入らないよう、立ち入り禁止エリアを表示していると理解していたが、作業が中断せざるを得なかったような状況が発生しているとのことであるため、改めて、現場の状況を確認し対策をとるように対応する。

(鹿児島港運協会 事務局長)

- ・ 北ふ頭エリアの利活用に当たっては、荷役作業の安全面の確保が担保されるようにしてほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 安全面の確保については要項にも記載しているため、まずは、エリアコンセプトプランに沿った提案があると期待している。事業者が決まれば、その後協議、意見交換を行っていくものと考えている。

(NPO法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ 北ふ頭への寄港を希望するクルーズ船も増えている。クルーズ船が停泊している岸壁に荷役のトラックが行き来している状況であるため、安全性の確保が必要だと感じている。

(県土木部 港湾空港課 課長)

- ・ クルーズ船が寄港している際の安全確保については、改めて、現状を確認し、必要な対応をとりたい。

(NPO法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターは、建物が素敵な景観で設計が進められることになっている。機能的にも年間を通じて大きなイベントや様々なイベントができる機能を持つ施設にしていきたい。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターが整備される本港区エリアは、エリアコンセプトプランにおいて、365 日賑わうというコンセプトとなっている。そのため、スポーツ・コンベンションセンターの利用については、設計事業者に示す仕様書等において、スポーツ利用に加えて、スポーツ利用がないときに、イベント等を実施することで 365 日賑わう工夫などを求めている。
- ・ また、実際に使われる方に配慮するような仕様としており、イベント主催者等のトラックの搬入等についても、仕様書に記載してあることを踏まえて、設計事業者から具体的な配慮の提案がなされている。今後、より具体的な内容について、設計事業者と意思疎通を図りながら、検討したい。

(NPO 法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ コンテナハウスのトライアルについては、北ふ頭での自衛隊の艦船や、クルーズ船寄港時に売り上げが増えたということだったため、イベント以外にも近隣で何かがあれば流れはできると分かったと思う。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 北ふ頭だけが賑わうわけではなく、スポーツ・コンベンションセンターなど本港区エリア全体、また、中心市街地へも回遊し賑わいを生むようにと考えている。
- ・ 安全は確保した上で、賑わいが創出されるように、関係者と連携しながら取り組んでいきたい。

(鹿児島県旅客船協会 事務局長)

- ・ 北ふ頭旅客ターミナルのトイレや空調などの改修・整備については、クルーズ船が寄港している際の安全確保や、利活用事業者を公募している北ふ頭エリアが賑わうための事業の一つに繋がる。早期の改修・整備に取り組んでいただきたい。

(県土木部 港湾空港課 課長)

- ・ 北ふ頭旅客ターミナルについては、エリアコンセプトプランなどを踏まえ、受け入れのための C I Q 機能の導入など、クルーズ船の受入環境を整備するため、国の事業を活用しながら、昨年度からターミナル設備の改修に係る設計などを進めている。まずは、2 階のトイレの改修に取り組むこととしており、今年の 3 月から工事に入っている。
- ・ また、例えばエレベーター、電源設備、空調などについても設計を行っており、順次、工事に入っていきたいと考えている。

(一般社団法人鹿児島市商店街連盟 会長)

- ・ トライアル・サウンディングを行ったしおかげ通りのコンテナハウスについて、データを見る限り素晴らしいデータをとっていただいたと思って大変感動している。
- ・ このコンテナハウスの利用者と水族館の入場者数との比較をしてもらいたい。水族館から来た人が、どのくらいしおかげ通りに回遊したのかが分かると、北ふ頭に建物ができたときとの関連性も分かると思う。
- ・ トライアル・サウンディング実施事業者の収支を含めた概況も教えていただきたい。民間側も多少利益が上がらないと事業が成り立たないと思う。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 水族館との関係については、アンケートをとった際、水族館に行かれてからしおかげ通りに来たかという形ではとってない。ただし、事業者からの意見では、水族館のグッズを持っていた等、水族館を見られて、そのあと、トライアル・サウンディングのコンテナハウスにいらっしゃった方もいるという意見も聞いている。今回数字では分からないが、事業者から周辺の施設との連携、連動、回遊性は必要だというような意見もあったため、今後、しっかりと取り組む必要があることが分かった。
- ・ 収支の面において、経費等はトライアル・サウンディング実施事業者の企業情報に係る部分のためお示しできないが、売り上げが平日や天候に左右されているところがあるため、恒常的に人を呼び込む仕掛けが大事であり、イベント等を重ねて認知度の向上を図っていくことが非常に大事であるという結果であった。今回の公募においても、各民間事業者のノウハウをもとに、よい利活用提案を出していただけることを期待したい。

(一般社団法人鹿児島市商店街連盟 会長)

- ・ 天文館で歩行者天国を年2回程行っている。その際、イスとテーブルを置いており、利用頻度もとても高い。しおかげ通りで事業を行う際は、テーブルだけでも良いので置いた方が良いと思う。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ どのような提案があるか次第であるが、今回いただいたご意見についても、事業予定者が決定後、協議していく中で参考にしていければと考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 一般の県民・市民にとっての一番の関心はウォーターフロントパークである。ウォーターフロントパークをどう活かすかは、本港区エリアの賑わいをどう作るかというところに密接に繋がるため、ウォーターフロントパークの利活

用を早期にやってほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ ウォーターフロントパークはエリアコンセプトプランにおいて、本港区のにぎわいの核として県民が親しむエリアであり、非常に大事な場所と考えている。
- ・ 民間事業者にサウンディングする中でも、やはり、北ふ頭エリア、ウォーターフロントパークは、非常に関心が高かったということは我々も認識しており、本港区エリアの賑わいを創出するためには大事であると考えている。一方で、サウンディングを実施する中で、スポーツ・コンベンションセンターの設計が決定されていない状況であり、様子を見る必要があるという意見もあったことから、まずは、北ふ頭エリア等を先行させていただいた。
- ・ スポーツ・コンベンションセンター関係課とは常に連携しており、時期が来たら速やかに動けるような形で取り組んでいきたいと考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターは搬入車両のスペースはあるが、一般のお客さんが停めるような駐車場があまりないように見える。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターの駐車場について、敷地内の駐車場は、基本構想において、既設の駐車場 100 台、多目的広場を活用した臨時駐車場に 300 台程度を想定しており、今回の設計事業者の提案においては、この台数を満たしている。
- ・ 大規模な大会などがあった場合を想定した一般駐車場 500 台程度については、基本構想を踏まえつつ、整備周辺の県営駐車場において整備活用することとしており、県営駐車場を所管する土木部とも、情報共有しながら、進めたいと考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 現在、クルーズ船の観光バス、シャトルバスの駐車場として、ドルフィンポート跡地を使用している。スポーツ・コンベンションセンターの整備によりドルフィンポート跡地が使用できなくなった後はどうするのか。どう考えているのか伺いたい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ クルーズ船のバスが、ドルフィンポート跡地を乗降場、待機場として使用しているが、乗降場については昨年 4 月に、中心市街地に民間においてバス乗降場を新たに整備いただいた。待機場については、受入側の方で、関係者と連携

しながら検討すると聞いている。

- ・ 一方で、昨年３月の港湾計画見直しの中で、北ふ頭の１号岸壁をクルーズ船も使える岸壁と位置づけたことから、今回の北ふ頭エリア等の利活用公募において、旅客ターミナルに隣接する野積場②について、マリンポートかごしまと連携したクルーズ船のバスの駐車場としており、空いているときにはイベント等、事業者が活用できるようにしている。
- ・ 野積場②は任意提案のエリアであるものの、北ふ頭内にもバスの駐車場を確保する方向性を示していることをご理解いただければと思う。

（鹿児島商工会議所 副会頭）

- ・ ウォーターフロントパークをどういうふうにもっていくかということ、
「この次です」としか皆さん思っていないのではないかという懸念がある。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ 繰り返しになるが、エリアコンセプトプランにおいて、ウォーターフロントパークは賑わいの核と位置付けており、我々もそのように考えている。
- ・ エリアコンセプトプランは、グランドデザインの中で、エリア全体の方向性を示しているが、各エリアをどう動かすかということ、スポーツ・コンベンションセンターも含めて取り組むが、しっかりと賑わいや回遊を生むため、各エリアが連携するよう記載している。
- ・ ウォーターフロントパークは先ほど説明したとおり、事業者から手が挙がるかという課題もあるため、スポーツ・コンベンションセンターの設計の状況を見ながら、動かせる状況になったら、速やかに動かすよう連携して取り組んでいきたいと考えている。

（鹿児島商工会議所 副会頭）

- ・ 北ふ頭の事業者を公募で、みなと緑地ＰＰＰ（港湾環境整備計画制度）を活用するとのことだが、ウォーターフロントパークこそ、みなと緑地ＰＰＰを使うべき場所である。その辺いかがか。

（本港区まちづくり推進室 室長）

- ・ みなと緑地ＰＰＰは、収益施設を民間の方に建ててもらい、それをもって、維持管理、賑わい創出をしていただくといった制度である。まずはしおかぜ通りについて、港湾緑地ＰＰＰを考慮し提案いただきたいと考えている。
- ・ 今回の北ふ頭エリア等の利活用公募においても、しおかぜ通りにおいて、みなと緑地ＰＰＰ制度の活用を考えている。
- ・ 今後、ウォーターフロントパークも同じように、新しい賑わいを生むような制度を、民間活力を使いながら取り組んでいきたいと考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 早くやってほしいと思うし、制度がまだできたばかりだが、神戸など、全国的にも新設されている。みなと緑地PPPを実施するのであれば、ウォーターフロントパークでしようということを申し上げたい。ぜひよろしくお願いします。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ ご意見、承った。どういった形でできるか我々も勉強しながら考えていきたい。

(NPO法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ ゆめみなととしても、ウォーターフロントパークでのイベントをいくつかやってきた。副会頭の意見には大賛成である。今回のイベント情報も見ると、ウォーターフロントパークを使うイベントもいくつか組まれている。
- ・ ウォーターフロントパークの利活用を行うに当たっては、建物を建てるのではなくても、最低限、トイレと照明を改修いただきたい。鹿児島のシンボルである桜島を望むところなので、鹿児島の食とか、焼酎などを紹介し、週末だけのマーケットみたいなものを開けるような、簡単な設備だけを整えていただきたい。
- ・ もちろんスポーツ・コンベンションセンターの動線に沿って利活用を進めるのも大事だと思うが、最低限の整備を整えていただければと思う。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 今すぐ動くかどうかは別として、県として整備する手法では、賑わい創出のために、みなと緑地PPPのような制度もある。
- ・ 施設の改修にも取り組みながら、いつウォーターフロントパークを動かせるか、どのような制度がいいのか検討し、民間活力も使い、対応していきたいと考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターの整備も県で行っているため、トイレひとつくらい、県でやってほしい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ ご意見として承った。その後の維持管理も含め、どのような手法が最もよいか考えていきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 本港区エリアにおいては、住吉町15番街区から北ふ頭まで利活用の提案や

公募が進められている。回遊性やアクセスがどのようになるのか。例えばマイアミ通りからスポーツ・コンベンションセンターへ行くときは、2階部分から行くことも想定される。そうすると2階をデッキで繋がるようなイメージも考えられる。今回のスポーツ・コンベンションセンターの提案では、海側の方に向けて、どのような回遊性が生まれることを考えているのか教えていただきたい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ エリアコンセプトプランにも書いているとおり、それぞれのエリアが独立して動くのではなく、中心市街地との回遊性を生むことが大事だと考えており、エリアコンセプトプランにも歩行者動線は回遊性を生むような形で位置付けている。回遊性が必要であるということは十分認識しており、懇談会におけるご意見も伺いながら、また、スポーツ・コンベンションセンター担当課とも連携しながら、回遊を生む形で取り組んでいきたいと考えている。

(県観光・文化スポーツ部 次長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターについても、集客施設として、そこに集めた人を中心市街地に回遊していくという基本的な考え方を持っている。
- ・ また、本港区エリア全体を見ても、エリアコンセプトプランにおいて、人の流れの誘導として、各エリアを結ぶ動線を形成するためのプロムナードを検討するとともに、同プランでは、ペDESTリアンデッキのイメージ等も示されている。
- ・ スポーツ・コンベンションセンターの設計業務仕様書においては、歩車分離について十分配慮するとともに、スポーツ・コンベンションセンターに四方からアクセスできるよう施設を囲むアプローチデッキを設けること、中心市街地への動線や多目的広場、ウォーターフロントパークへのアクセス性能に配慮すること、将来的に業務用地外の周辺施設からの連絡通路が整備されることを想定し、接続が可能な仕様とすること等を示している。
- ・ 今後、仕様書に示した内容について、設計者と意思疎通を図りながら回遊導線の確保や歩車分離の具体的な方策を検討してまいりたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 鹿児島市としてはどう考えるか。

(鹿児島市建設局 都市計画課 課長)

- ・ マイアミ通りからのアクセスについては、スポーツ・コンベンションセンターの設計者の案に示されているとおり、中心市街地に出口が向いているかといったこと等が評価されているので選ばれたと認識をしている。

- ・ スポーツ・コンベンションセンターで大きなイベントがあったときに、混雑をするのではないかと懸念されるところであり、今後そのあたりについては、スポーツ・コンベンションセンターの設計事業者の方が検討されと考えている。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 多くの人々が訪れるサマーナイト大花火大会の時は、車の進入を禁止している中、スポーツ・コンベンションセンターで、1万人規模のイベントがあった際に、人流がどこをどう渡っていくのか、想像しただけでもどうなるのかという気はしている。

(鹿児島市建設局 都市計画課 課長)

- ・ スポーツ・コンベンションセンターの設計についても、市も委員を務める本港区エリア景観・デザイン協議会の場等において、今いただいた意見等を含めて提案をしながら、その懸念されていることが解消できればと考えている。

(鹿児島市観光交流局 観光戦略推進課 主幹)

- ・ さきほど、有馬会長から水族館の話が少しあったと思うが、鹿児島市が所管する水族館は、平成9年度開館以来、多くの市民、県民、観光客の方に親しまれており、近年でも70万人を超える方が訪れている。現時点でも北ふ頭エリアにおける賑わいの中心になっている重要な施設だと自負している。
- ・ 今回、北ふ頭エリアの提案の審査においては、水族館の集客力を最大限に活かすことが重要だと思っている。周辺駐車場の機能やアクセスについて、水族館と今回提案される取組とが一体となって北ふ頭エリアの賑わい創出や、ひいては本港区全体の相乗効果が期待できるのかという点を審査の評価基準の観点として理解いただきたい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 水族館は賑わいを生んでいる施設として認識しており、来館者を水族館以外にも誘導し、また、新たなものを作って水族館に誘導していく、そういった相乗効果があればよいと我々も考えている。
- ・ 一方で、先ほどから意見があるように港湾機能を残すという話もあり、駐車場をどうするのか、エリアコンセプトプランにおいて港湾物流を守りながらということも書いているので、バランスをとりながらやっていければと考えている。

(鹿児島県旅客船協会 事務局長)

- ・ 公募には必須提案が3箇所ある。これらは、必ず何かをしなければいけない

ということになるのか。任意提案も含めて一者で全部のエリアの事業を行う
ということでよいか。分割して何者かでやるという考えはないということ
でいいか。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ 利活用されてない4号上屋、野積場、しおかぜ通りについて、分割でなく、
全て網羅した形で提案ということとしている。
- ・ 今後、企業がどのような形で事業を実施するか、中に入るテナント等がある
かもしれない。基本的には応募に当たりその3つをしっかりと網羅し、しおかぜ
通りの維持管理までしていただくという形で公募している。

(県土木部 港湾空港課 課長)

- ・ 質疑応答の最初の方で、ゆめみなとから質問について、確認したい。北ふ頭
にクルーズ船が寄港した時に、クルーズの客が錯綜するという話があった。
- ・ 1号上屋の北側の方にある車用出入り口はクルーズ船が寄港している時に
は、荷役のトラックなどは進入を遠慮いただいていたかと思うが、現状として
は順守されていないということか。

(NPO法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ ご理解のとおり。

(県土木部 港湾空港課 課長)

- ・ 了解した。また調整をさせていただきたい。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ トライアル・サウンディングについて、夜の賑わい創出が必要だというよう
な意見があったが、実際、しおかぜ通りが暗かったとか、暗くて怖く感じたと
か、現場がわかりにくかった等の意見はなかったか、現場を近くで見ていたゆ
めみなとさんに伺いたい。

(NPO法人ゆめみなと鹿児島 専務理事)

- ・ 駐車場からの動線も分かりづらいという話もあり、現場にイス・テーブルが
あまりなくて、照明もそんなに明るいわけではなかったため、ちょっと分かり
にくいという話は聞いたところ。

(本港区まちづくり推進室 室長)

- ・ また、民間なのか公営なのかわからないが、しおかぜ通りの動線についても
検討していきたい。

(鹿児島商工会議所 副会頭)

- ・ 資料5の令和8年度のイベント予定表の1ページ、7月3日、4日におぎおんさあ宵祭りとなり、私ども商工会議所が主催でおぎおんさあ宵祭りを実施する。ウォーターフロントパークで行うが、ぜひここに御参加の皆様に来ていただきたい。
- ・ 私が招待するわけではないが、是非ぜひよろしくお願いします。